

第1回 大山詣で

第1支部 (株)モリヤマ
評議員 森山孝治
平成11年10月31日 曇り

10月31日午前9時、当日参加6名、定時に伊勢原駅へ全員集合。前日の天気予報は晴れ、ただし駅から見る限りでは山頂は雲の中。駅前より大山ケーブルカー駅行きのバスに乗り込む。こうして第一回のハイキング同好会、大山詣ではスタートした。

ケーブルカーの下車“追分”まではバス停から両側にお土産屋、茶屋などを見ながらかなりの石段を登らなければならず、この時点で小川化成の小川氏、それに小生かなり遅れをとる。実はこの地、水が大変良くそれを利用して豆腐料理が名物とか。下山後に『ビールを飲みながら食べよう』と誘いの文句にはまっつての参加は小生だけなのか？

さて上駅“大山阿夫利神社下社”よりいよいよ登り。最初から120～30段の石段がつづき、早くもこの時点で(株)内田の内田氏、小川氏、小生、リタイヤを考え始める。途中、ボタン岩にて小休止。我々が着くと同時に待っていた本日の幹事、乾商会の乾氏、東邦化成の磯部氏、井上塗料の小野寺氏の三氏は、これ以上休むと汗が冷えるとか何とか言って早々に出発。我々じょじょに遅れ、ついに小川氏と二人になる。

朝食を抜いて来た小川氏、腹が減ってフラフラ、二人で大休止。小川氏持参の三ヶの“にぎりめし”一つをご相伴にあずかる。少し二人とも元気が出る。後で聞くとシャリバテとか言って良くある事だそう。

道はますます険しくなり、ほとんど階段状態が続き、二人は休み休み進む。リタイヤでもすれば後で何を言われるか分からないので、言われたくない一身、ただその思いのみで歩を進める。二時間程で頂上が見える鳥居にたどりつく。

もう一步、ついに山頂。ついにやった、小川氏と顔を見合わせる。内田氏より遅れること20分。前着の三人は顔を見るなり“一時間も待ったのだからさあ下山”ときた。何と薄情な！山頂より雲の切れ間から伊勢原市街を眺める。15分程で内田氏を交え又三人で下山にうつる。途中“よくこんな所を登ったものだ”と内田氏再三ぼやく。マラソンの有森選手ではないけれど、自分を褒めて上げたい心境か！

定刻、2時下山、茶店に入る。第一支部支部長、岡村氏同席。先着の薄情組

三人とすでに一献かたむけている中、我々を迎えてくれる。後は豆腐料理で酒盛り。誰が言ったか、大変好評なのでハイキング同好会年内にもう一度開催決定。

12月23日 青梅の近く高水三山ですって。しょうがない参加するか！

P S . 小川氏ハイキングにはまって、鎌倉山、金時山へ11月に登ったとか？

ビバ ハイキング！